

ポム北千里(シェアハウスタイプ:定員10名)を筆頭に様々なタイプのシェアハウスやワンルームを次々に開設されました。また、それに留まらず、オーダーメイドの暮らし方にこだわり共生型グループホームを開所したところすぐ満室になったそうです。様々な生き方、人生、要望に応じた暮らし方を選べる事業をやって見てきてきた課題もたくさんあると紹介されました。

最後に「グローバルハッピーの理念に基づき「皆で支え合う幸せの循環する村」を作るのが私の夢です。幸せが循環するシステムをこれからも追求し、実現させたいと考えています。」と締めくくられました。

補足説明:「パイナポー桜井」について

今回、黒川さんからお話があった「パイナポー桜井」では1つの建物で、3つの住まい方(3階:見守り付き賃貸住宅、2階:障がい者グループホーム、1階:居住支援付き賃貸住宅)を展開しています。

まず1階部分の「居住支援付き賃貸住宅」です。民間賃貸住宅を住宅確保要配慮者(高齢者や障がい者など)の入居を拒まない住宅として募集・登録し、供給するという制度です。「パイナポー桜井」では1階部分の家主が不動産業者(みのりカンパニー)であり、居住者が不動産業者と賃貸契約を結び、家主と居住支援法人が連携して居住者の日常の安否確認を行い、生活が不安定になった際に福祉サービスへとつながります。

次に2階部分の「障がい者グループホーム」です。厚生労働省が所管する障害者総合支援法に基づく福祉サービスです。地域の中で少人数で共同生活をする障がいのある方々を支援するため、世話人や生活支援員等がホームに配置されており、一戸建て住宅や集合住宅を使用して、社会福祉法人やNPO法人、株式会社等により運営されています。運営する事業者は都道府県や政令市の指定を受けています。「パイナポー桜井」では2階部分を家主の不動産業者(みのりカンパニー)から運営法人(グローバルハッピー)が借り上げ、居住者が運営法人と利用契約を結び、運営法人の世話人や生活支援員等が居住者の食事・入浴等の介助や、掃除・洗濯等の家事などの支援をします。

最後に3階部分の「見守り付き賃貸住宅」です。法的な明確な定義はありません。広義では居住支援付き賃貸住宅やサービス付き高齢者向け住宅も含まれま

れます。「パイナポー桜井」では3階部分の家主は不動産業者(みのりカンパニー)で、居住者は不動産業者と賃貸契約を結び、居宅介護事業所等から派遣されるヘルパーが、居住者の食事・入浴等の介助や、掃除・洗濯等の家事などの支援をします。

大阪市育成会会員だより

《第23回 大阪市手をつなぐ育成会大会》

- ・日 時:12月6日(土) 13:00~16:30
- ・場 所:KKRホテル大阪(大阪市中央区)
- ・テーマ:「障がいのある子どもの 将来の暮らしと制度」
- ・講 師:(一社)全国手をつなぐ育成会連合会  
理事長 佐々木 桃子 氏  
きづがわ共同法律事務所  
弁護士 青木 佳史 氏

・資料代:1,000円

・申込締切:11月7日(金)

【問い合わせ先】大阪市手をつなぐ育成会 事務局

TEL:06-6765-5621

《11月 支部連絡会について》

- ・日 時:11月20日(木) 13:00~
- ・場 所:社会福祉センター 第1会議室

《会員向け学習会のお知らせ》

- ・日 時:11月20日(木) 13:30~  
(支部連絡会終了後~15:00)
- ・場 所:社会福祉センター 第1会議室
- ・テーマ:「障がいのある人の医療について」

活動報告(9月16日から10月15日まで)

	内 容
9/20	あつまれグループホーム (アウィーナ大阪)
10/3	大阪市障がい者施策推進協議会 (大阪市役所)
10/6	近畿連役員会(WE B会議)
10/8 ~11	万博イベント<全国連合会> (夢洲万博会場)
10/11	スポーツフェスタ2025大阪 (ヤンマースタジアム長居)
	大阪市障がい者SC運営委員会 (長居障がい者スポーツセンター)
10/12	全国障がい者スポーツ大会結団式 (長居障がい者スポーツセンター)